

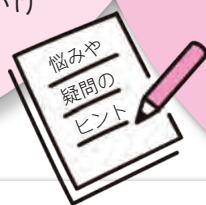
サロンに「来てほしい人」が  
なかなか来てくれない…

➡ 運営する側が「サロン対象者」と  
ひとくくりにしていませんか？

#### 【参加者からのヒント】

■ 私たちも元気なうちは自分で行きたい  
場所を自分で選んで決めている。サロ  
ンも同じで、体操の日は来るけれど、  
講演には来ないという人もいて、それ  
でもいいと思います。

■ 私たちは、つい自分の気持ちで「来て  
ほしい人が来ない」と思いがち。でも  
その人が「サロンに行きたい」と思っ  
ているとは限りません。  
だからこそ、サロンと見守りや声かけ  
のつながりが大切だと思います。



できるなら回数を増やしたい！  
でも、負担が増えるのはちょっと…

➡ 内容を決めず、集まってお茶を飲み  
おしゃべりするのもオススメです！

➡ 隣のサロンを見学してみよう！



#### 【参加者からのヒント】

■ 参加者に「何がしたい？」と聞いてみると、意  
外にも「変わったことをしなくても、みんな  
一緒にお茶を飲んで話ができるだけで十分」の  
一言。

それなら内容を考える負担もなく、回数を増  
やすことができました。

■ 「地域の居場所応援事業所リスト」を活用して、  
事業所の方に来てもらいました。内容をおま  
かせでき、プロの話や体操が喜ばれました！

■ 今回参加して「お互いのサロンを見学して  
みよう」と約束しました。どんな雰囲気  
なのか、今から楽しみです。

参加者によって体力差が…みんなで  
レクリエーションを楽しめる工夫が知りたい！

➡ 「体力がある人」の方にばかり、合わせていませんか？

#### 【社協からのヒント ～こんな事例がありました～】

- ① ある区のサロン、その日のメインは個人戦の“わなげ”でした。Aさん  
は、立った姿勢で投げることが難しく、別の参加者が「それならイ  
スに座って投げたらいいよ」と提案。座って参加したのですが…
- ② 2巡目に入ろうとした時、Aさんが「私だけイスを準備してもらうの  
は申し訳ないし2回目はしない」と一言。本当は、参加したような様  
子…
- ③ そこで社協から提案。「2回目は、全員がイスに座ってしてみよう！」  
やってみると、意外と難しい…でも、みんな新ルールを楽しんでいる！
- ④ 結果はなんとAさんの優勝！次回は、初めから全員がイスに座ってす  
ることになりました。



答えがないからこそ、  
みんなで考える

今回実施した2つの校区の中で、  
参加者のこんな感想がありました。  
「自分だけじゃなくて、みんな悩  
んでいると思うと少しほっとしま  
した。だから、今度お互いにサロ  
ンを見学しようと約束しました」  
まずは、いちばん身近な参  
加者〴〵に聞いてみる。そして、自  
分の地域だけで悩むのではなく、隣  
の区や参考になる取り組みをして  
いる区と、互いの情報を交換する。  
その流れは、今回のように校区に  
広がり、毎年社会福祉協議会が行っ  
ている町全体での「ふれあいサロ  
ン交流会」へとつながっていく。  
サロンに限らず、どんなことで  
あっても自分の暮らす区の中だけ  
で完結するのは、難しい時代なの  
かもしれません。だからこそ、今  
回実施していない校区でもぜひ、  
交流会を開催してみませんか。ヒ  
ントは意外と近くにありますよ！